

令和6年9月26日

ご利用者様・関係者各位

御坊日高老人福祉施設事務組合  
管理者 藪内 美和子

### 不適切な身体拘束に関する報告について

平素は当組合の事業についてご理解とご協力を頂き、誠に感謝申し上げます。

この度、当組合が運営しております特別養護老人ホームときわ寮梅の里におきまして、不適切な身体拘束が行われた事案がありました。この件について、みなべ町及び和歌山県による介護保険法に基づく監査を受け、下記のとおり勧告を受けたところです。

このような事態が発生し、ご利用者様をはじめ多くの関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

本件の内容や経緯をはじめ、当組合としての対応や今後の対策についてご報告させていただくと共に、今後はみなべ町及び和歌山県の行政指導に基づき、職員個々が再発防止の意識を徹底することで、信頼回復に努めてまいります。

### 記

#### 1. 発生施設

特別養護老人ホームときわ寮梅の里

#### 2. 事案概要

13名のご利用者様に対する不適切な4点柵の使用がありました。また、ナースコール設備について、28名のご利用者に対して故障や手の届かないところに置かれている等で使用できる状態になっていませんでした。

#### 3. 勧告にいたる経緯

令和6年5月14日のみなべ町による実地調査により上記の事実が判明し、同町及び和歌山県による監査が令和6年5月23日、5月24日及び6月20日に実施され、令和6年8月16日に以下の概要のとおり和歌山県から勧告がありました。

- ① 4点柵の実施にあたって、所定の協議や状況の記録がなく、それを不適切と知りながら現場職員が個々の判断で4点柵を実施しており、令和5年8月から令和6年5月まで約10か月にわたり是正できていなかった。このことについて原因の分析と適切な処置を行うこと。
- ② 緊急やむを得ない場合の身体拘束を検討する手順を現場職員が十分把握できておらず、身体拘束適正化指針にも具体的な手順が明らかになっていなかった。ついては、具体的かつ明確に定めた上、その内容を職員に周知徹底することとし、令和6年8月中に改善状況を報告すること。なお、令和6年6月から改善が認められるま

で入所者全員に対し身体拘束未実施減算を行うこと。

- ③ ナースコール設備について、ご利用様が必要な時に使用できるよう整備し、定期的に確認し記録する体制を構築すること。
- ④ 施設長は、上記のとおり不適切な状況が継続していたにもかかわらず、その状況を把握できていなかった。ついては、業務の実施状況等の管理を行えるような措置を講ずること。

#### 4. 改善に向けた対応状況

事実判明後、直ちに不適切な4点柵の状態について身体拘束適正化委員による検討を行い、すべてのご利用者様について4点柵を解除いたしました。毎日施設内巡回を行いその記録を身体拘束適正化検討委員会で確認していくこととしています。

ナースコールの故障箇所を補修し必要時使用できるよう改善しました。職員が定期的に巡回し、状況を確認し記録しています。

身体拘束廃止に関する研修を組合全職員に実施しました。

外部委員が参加した検証委員会を設置し、事実関係の把握や発生原因の分析を行い、提言された改善策に基づき改善計画の策定を行いました。概要は以下のとおりです。

- ・緊急やむを得ない場合の身体拘束を検討する手順について、具体的な手順を定め全職員に周知しました。
- ・身体拘束適正化検討委員会の会議内容を全職員が共有するために、会議録の閲覧方法を改善しました。
- ・施設長が各部署の会議に出席し職員個々の意見を記録に残すこととしました。また定期的に施設内を巡回し記録に残すこととしています。

改善計画については、令和6年8月26日にみなべ町に提出を行い、勧告に対する改善状況については令和6年9月12日に和歌山県へ報告を行ったところです。

なお、令和6年6月から身体拘束廃止未実施減算が適用されていましたが、和歌山県による改善確認があり、減算の適用は8月までの3か月間となりました。

#### 5. 今後の取り組み

職員の身体拘束に関する認識が不十分であったことについて、身体拘束等適正化指針の研修を定期的に実施し、外部研修への参加や専門的な講師を招いての研修などで最新の知見や技術を学びます。

和歌山県社会福祉士会に推薦を依頼した第三者委員による検証委員会を設立し、さらなる原因の検証と改善策の策定を行うこととします。

今後は、改善計画の執行状況について、定期的にみなべ町による確認を行っていただきながら、事業を実施していくこととなります。当組合といたしましては、このような事が二度と起こらないよう、ご利用者の人権と尊厳を守り法令遵守を徹底することで、皆様の信頼を取り戻すよう努めてまいります。